

**Snorkel高所作業車**

**S3010E**

**月例検査要領書**



# はじめに

- ・高所作業車を事前に満充電にしておく。また充電器で満充電を確認したうえで電源ケーブルを抜く事
- ・検査前に以下のものをあらかじめご用意ください
  - ・テスター
  - ・比重計
  - ・複数サイズのレンチセット(モンキレンチでも可)
  - ・グリス、CRC等の潤滑浸透剤
  - ・安全支柱としての使用に適した角材等
  - ・パーツクリーナー、ウエス
  - ・ウエイトまたはそれに類する重り
  - ・その他バッテリー液など必要に応じてご用意ください
- ・取説書/サービスマニュアルを確認しながら作業にあたってください

# 作業準備

# ①車体・車軸



車体の溶接個所に亀裂や割れが無いか確認。

# 車体および走行装置

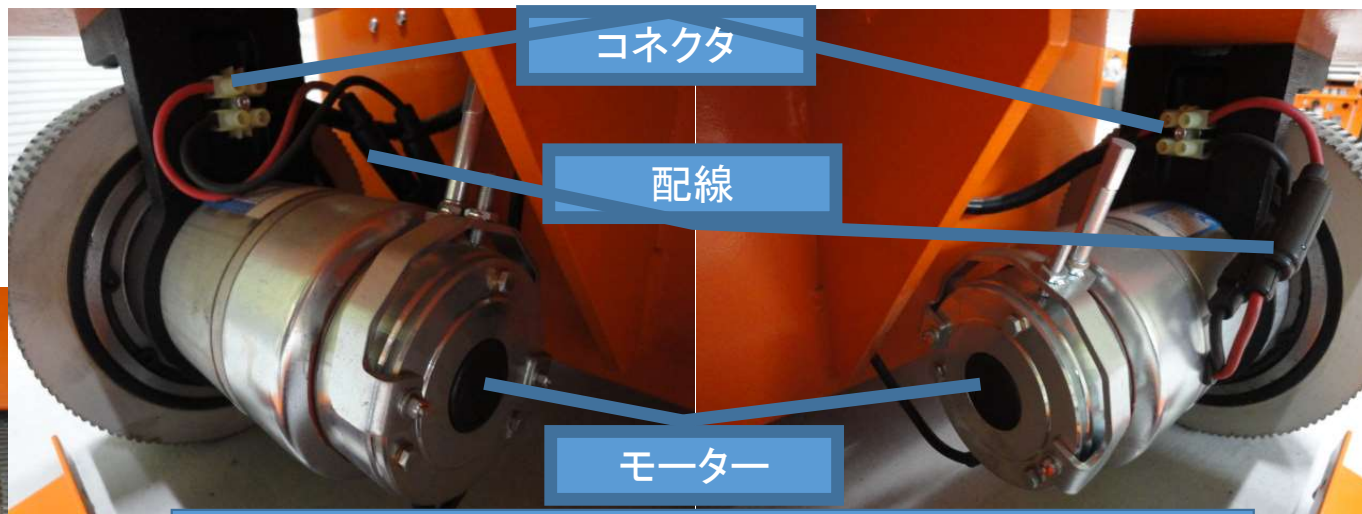
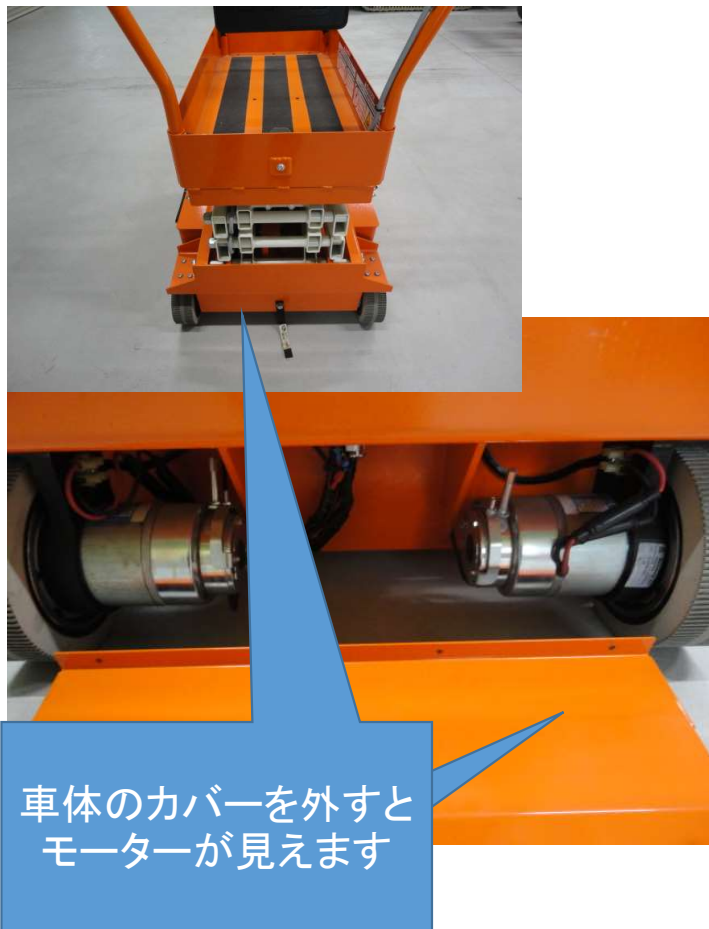
## ②タイヤ



タイヤやキャスターに亀裂や摩耗、  
取付ボルトおよびナットに緩みがないか確認。

車体および走行装置

# ③電動モーター



ケーブル取付け端子やコネクタに緩みがないか

コネクタや配線の抜け、  
ボルトおよびナットの緩み汚れや錆がないか。

## ④走行装置⑤かじ取り装置



左右モータ回転数の差でキャスターにより  
方向転換ができます。

動作に問題が無いか、スムーズに動作するか確認

## 車体および走行装置

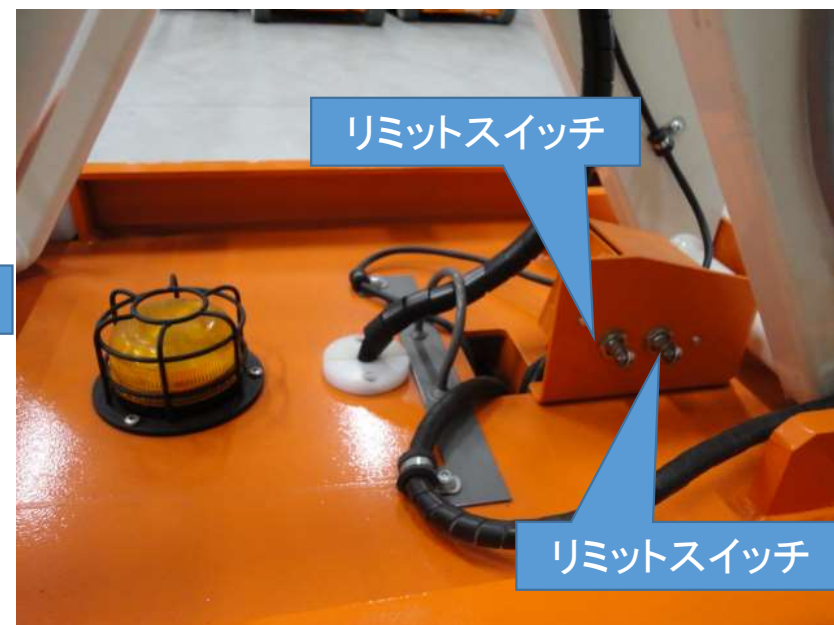
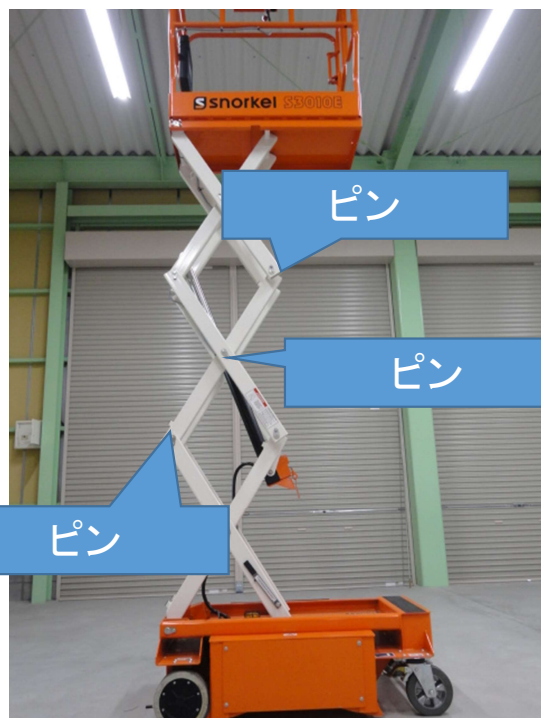
## ⑥ブレーキ



・キャストターにも  
ロック機能が  
あります。

- ・ブレーキは電動モーター内部に内蔵されています。  
機体を押してブレーキがかかっているか確認して下さい。  
(ジョイスティックニュートラル位置)

# ⑦シザーリフト



変形、溶接破損、ピン摩耗、  
ボルトおよびナット緩み、ローラー摩耗。

・リミットスイッチ2つに  
損傷がないか。



## ⑧ シリンダ

シリンダ本体からの油漏れ



シリンダの取付

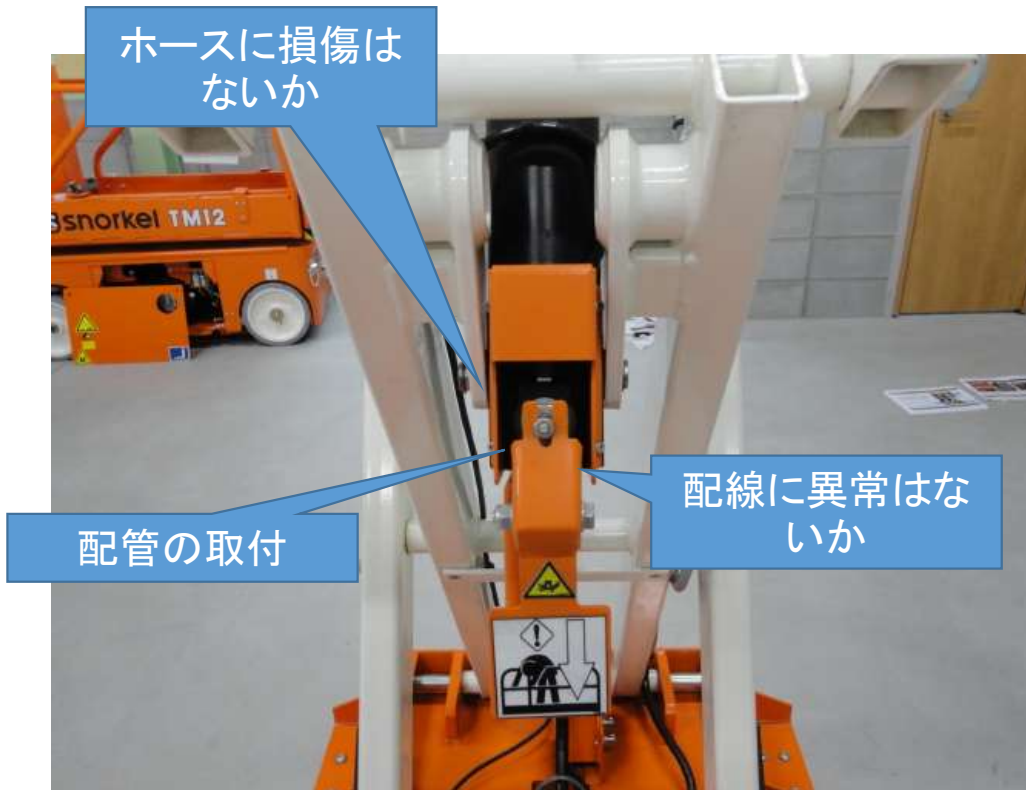
リンクピン止め輪

- ・シリンダの取り付け状態の確認。
- ・リングピン留め輪の確認。
- ・シリンダからの油漏れはないか。



作業床を上昇させて点検を行う場合  
万々に備え安全支柱を使用し  
挟まれ事故を防止する事。

## ⑨配線、配管



- ・配線、配管、ホースに油漏れ損傷等、異常はないか。



作業床を上昇させて点検を行う場合  
万一に備え安全支柱を使用し  
挟まれ事故を防止する事。

## ⑩ フレーム



作業床フレームに変形  
溶接部の亀裂はないか。



昇降装置は適切に  
取り付けられているか。  
ガタ等ないか。

# ⑪手摺り

各部ボルトナット



中棧

幅木

- ・手摺に変形、破損はないか。
- ・ボルトナット緩みはないか。
- ・中棧および幅木の破損変形はないか。

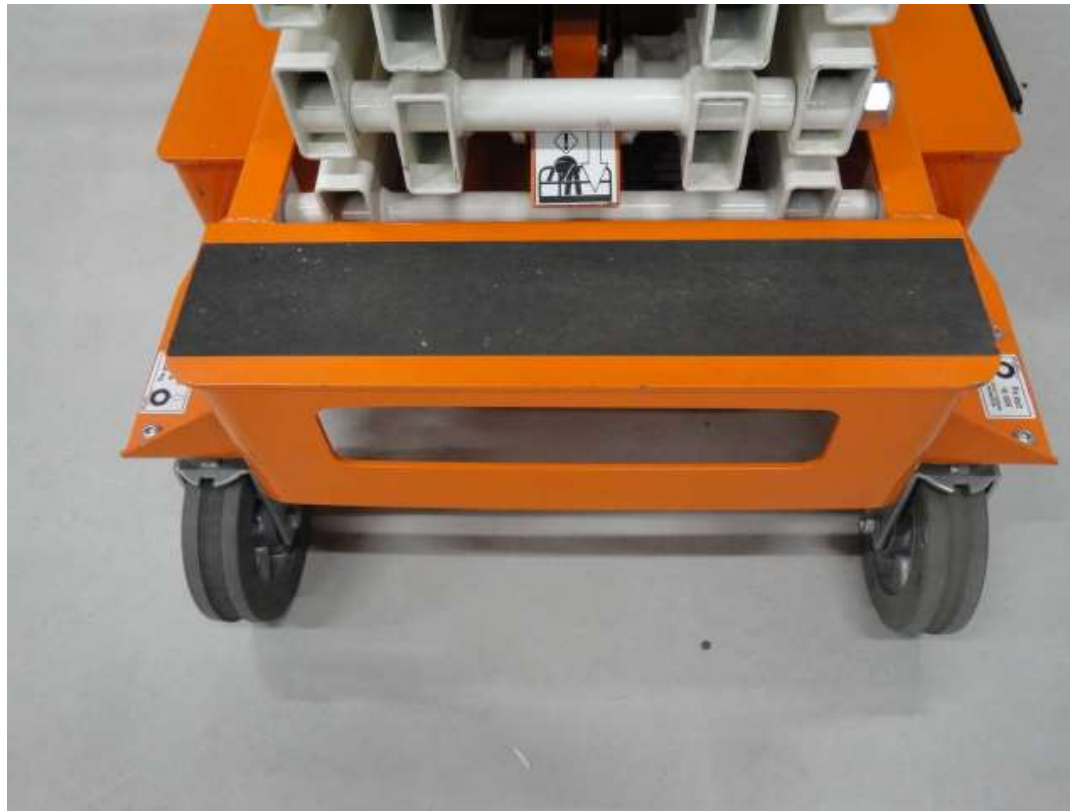
## 作業床

## ⑫ 出入口



- ・ドアに変形破損はないか。
- ・ヒンジに変形破損はないか。  
 確実に取り付けられているか。

## ⑬ ステップ・昇降設備



変形や損傷等はないか。

## ⑭メインデッキ



- ・メインデッキ作業床に腐食、錆、破損はないか。

作業床

## ⑮ バッテリー



- ・バッテリー液量は適切か。
  - ・バッテリー比重は適切か。
  - ・端子緩み、腐食、変形はないか。
- ※左右合計4個とも確認する事



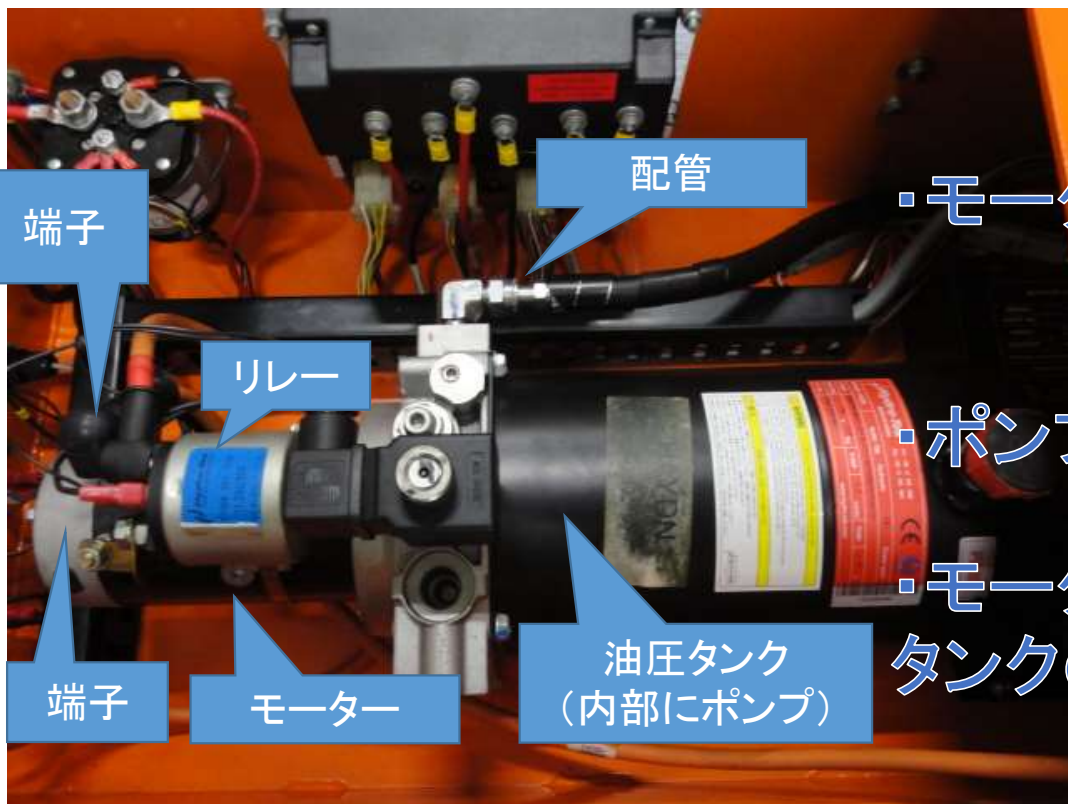
バッテリーに入っているバッテリー液には希硫酸が含まれるため、身体に触れた場合はすぐに洗い流すこと。



比重は満充電で1.27～1.28を目安とする。



## ①⑥ 直流モーター ①⑦ 油圧ポンプ



- ・モーターの汚れ、端子緩みはないか。
- ・ポンプの配管緩み、油漏れはないか。
- ・モーターとポンプのつなぎ目、ポンプとタンクのつなぎ目から漏れはないか。

メンテナンスハッチ内にある。

## ⑱ 作動油



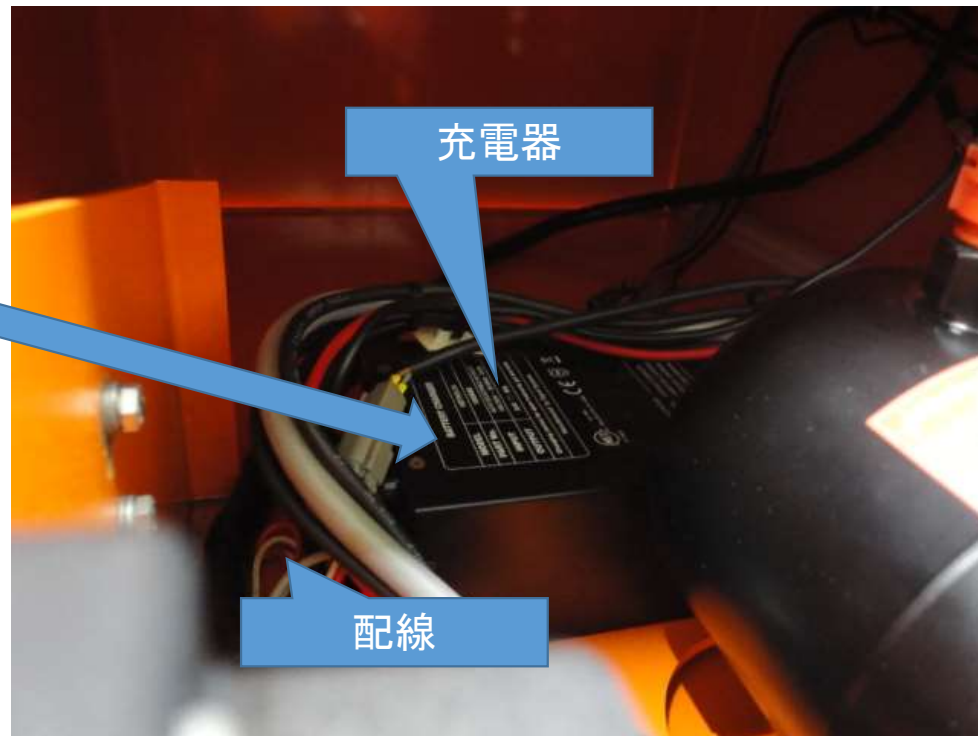
- ・作動油の量を測る際、作業床を一番下げた状態で行って下さい。
- ・作動油の量は適切か。(ゲージのLow - Fullの間に油面があるか)  
(作動油を足す場合はVG32を使用)
- ・汚れ、漏れはないか。

メンテナンスハッチ内にある

# ①9 充電器



充電器



充電器

配線

・スライドさせると出てきます。

配線等に異常はないか。  
充電器の動作に問題はないか。

# 動力装置

## ②0 作業床操作盤



・盤/機器の汚れ、破損の確認。



・配線の取付、断線等ないか確認。

配線とコネクタ

操作・制御装置

# ②1車体側操作盤 ②2リレー



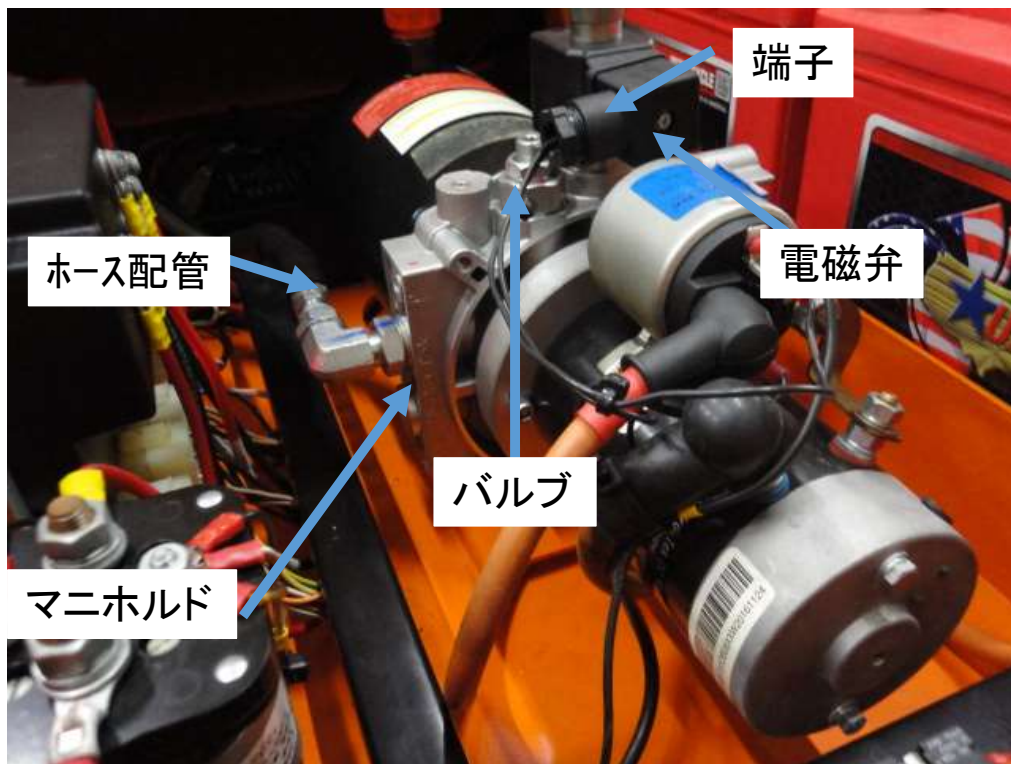
- ・盤/機器の汚れ、破損の確認。



リレー

- ・配線の取付、緩みや断線等ないか確認。

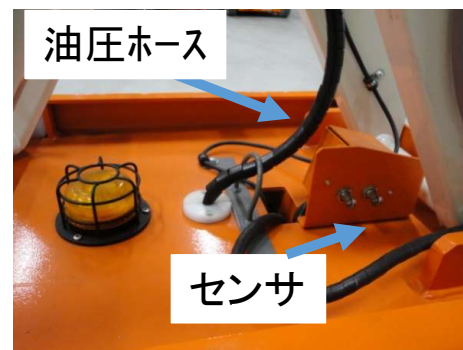
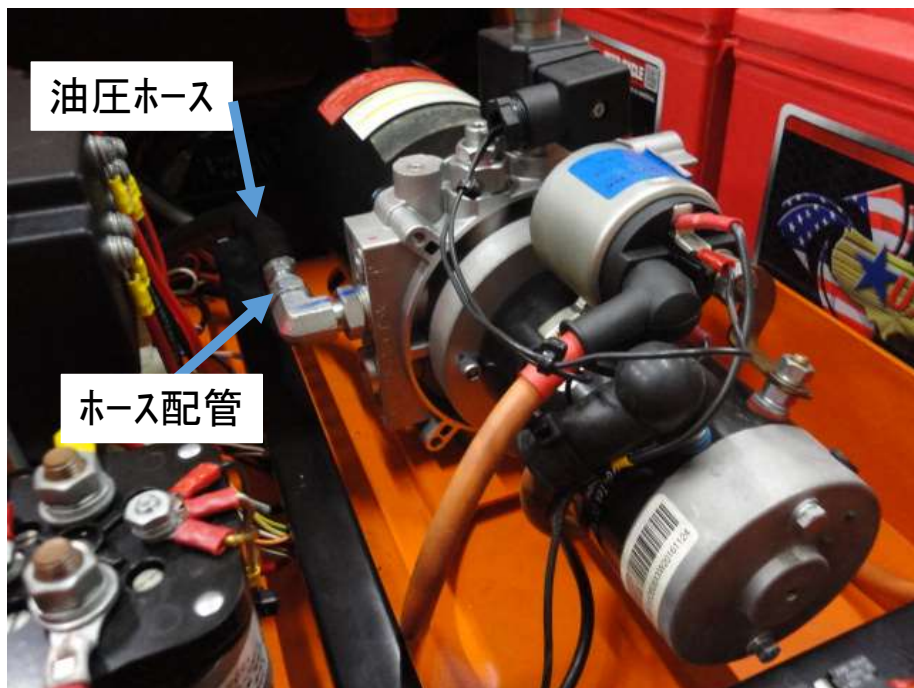
## ②③油圧マニホルド ②④電磁弁



- ・汚れ、油漏れ、端子緩みが無いか。
- ・各バルブのマニホルドへの取付け部漏れ損傷等確認。
- ・油圧ホース配管のマニホルドへの取付け部、漏れ損傷等確認。
- ・電磁弁の端子抜け/緩みの確認。

## ②5配線配管 ②6各種センサ

- ・各部油圧ホース/配管の損傷、油漏れ等はないか。
- ・各部センサ端子に異常はないか。



## 操作・制御装置

## ②7 銘板



銘板

- ・銘板に汚れは無いか、内容は全て読み取ることができるか。



# ②⑧傾斜角規制装置 ②⑨安全弁 ③⑩走行警報装置

## 傾斜角規制装置

- ・傾斜地やジャッキを使って車体を傾斜させ、  
警報が鳴り機体が上昇しない事を確認します。

## 安全弁

- ・作業床に最大積載+10%程度の荷重を載せます。
- ・モーターは動作するが、圧力がかからず作業床が上昇しない事を確認します。

## 走行警報装置

- ・走行時アラームが設定されている機体では、走行操作時に正しく鳴動するか。またホーンが正しく鳴動するか。
- ・走行時アラームが設定されていない機体では、ホーンが正しく鳴動するか。

# 安全装置作動確認

# ③1 非常停止装置 ③2 緊急降下装置



- ・ボタンを押して動作がしなくなるか。
- ・ボタンを引き出して動作できる状態になるか。



身体を車体で挟まないように注意



- ・緊急降下装置を操作し、降下ができるか確認。

## 安全装置作動確認

## ③③ 走行速度規制装置

- ・作業床を上昇させる
- ・リフトから走行に切り替える。
- ・走行操作を行い、低速にしなければならない事を確認する。



安全装置作動確認

## ③4 作業床自然降下

### 自然降下

- ・下部操作装置にてリフトを上昇させる。
- ・車体にテープ等でマーキングをし、降下した場合に確認できるようにしておく。
- ・1～2時間程度時間をおいて降下が無いか確認する。



安全装置作動確認

## ③⑤上昇 ③⑥降下 ③⑦クッション降下



- ・上昇：上昇操作を行う。異音がないか、速度に問題はないか。
- ・降下：降下操作を行う。異音がないか、速度に問題はないか。
- ・クッション降下：一番下まで降り切る際に問題はないか。

動作確認

## ③⑧高速走行 ③⑨低速走行 ④⑩ブレーキ作動 ④⑪制動



- ・高速走行：作業床格納状態で高速走行となるか。
- ・低速走行：作業床上昇状態で低速走行となるか。
- ・ブレーキ作動①：走行操作入力でブレーキが解除されるか。（引きずる感じはないか）
- ・ブレーキ作動②：走行操作解除でブレーキは自動的にかかるか。
- ・制動：ブレーキが動作してから車体はすぐに停まるか。

動作確認

## ④2 操向



- ・走行時にステアリング操作で  
キャスターが動くか。
- ・停止時にステアリング操作で  
キャスターが動くか。

動作確認

ご不明な点は下記へご連絡ください

エイハン・ジャパン(株)本社  
東京都港区芝浦3-15-2山本ビル3F  
Tel: 03-5765-6841  
Fax: 03-5765-6840

エイハン・ジャパン(株)関西支店  
大阪府摂津市鳥飼新町1-14-3  
Tel: 072-650-1950  
Fax: 072-650-1951

